

猪苗代湖及び裏磐梯湖沼水環境保全推進計画の改定ポイント

1 見直しの主なポイント

- 猪苗代湖における湖水の中性化の進行に伴う自然浄化機能の低下による水環境の悪化傾向及び平成21年度に設置した専門家からなる「猪苗代湖水質保全対策検討委員会」での検討状況を踏まえ、流域において重点的に取り組むべき施策を明示することとする。
 - ・生活排水対策
 - ・水生植物を利用した汚濁物質の捕集と陸域への回収
 - ・観光地対策
 - ・エコファーマーの普及拡大と水環境にやさしい農業の推進
 - ・県民が一体となった水環境保全活動
- 富栄養化防止の観点から、下水道や農業集落排水処理施設の整備区域外では、窒素除去型浄化槽ではなく窒素・りん除去型浄化槽の設置を進めることとする。

2 現計画（平成14年3月策定）との相違

(1) 計画期間

「福島県総合計画」、「福島県環境基本計画」及び現在改定作業中の「福島県水環境基本計画」との整合を図り平成26年度を目標年度とする4カ年とする。

現計画：平成14年度～平成22年度の9年間
改定案：平成23年度～平成26年度の4年間

(2) 水質保全目標値

猪苗代湖の北岸部の水質に改善傾向が見られることから、水質の現況値を踏まえて、目標値を高く設定し、南岸部と同じ目標値とする。

現計画	改定案
COD：3.0mg/ℓ以下	→ 1.0mg/ℓ以下
全窒素：0.40mg/ℓ以下	→ 0.20mg/ℓ以下
全りん：0.03mg/ℓ以下	→ 0.005mg/ℓ以下

(3) 事業達成水準

これまでの施策実施状況や今後の施策展開等を踏まえ、施策の目標となる事業達成水準を追加、変更、削除する。

ア 追加する項目

- ・ボランティアによるヨシ刈り、水草回収、湖岸清掃等の参加者数
理由：県民参加による水環境保全活動の活性化を把握するため

イ 変更する項目

- ・現計画の「窒素除去型浄化槽設置基数」
→ 窒素・りん除去型浄化槽設置基数
理由：窒素・りん除去型浄化槽の設置を促進するため
- ・現計画の「水質調査」(目標達成水域数/目標設定水域×100)
→ 目標設定水域の目標値
理由：現計画の達成水準が難解なため

ウ 削除する項目

- ・現計画の「家畜排せつ物処理施設整備率」
理由：既に目標値を達成しているため